

平成16年度
日本環境変異原学会第33回大会および
日本動物実験代替法学会第18回大会合同大会
(JEMS & JSAAE2004 長崎大会)

参加および発表申込み要領

開催日時 :

平成16年11月30日(火)～平成16年12月2日(木)

開催場所 :

長崎市茂里町 長崎ブリックホール(<http://www1.city.nagasaki.nagasaki.jp/brick/>)および長崎新聞文化ホール(<http://www.nagasaki-np.co.jp/company/culture/astopia.html>)

大会長 :

長崎大学大学院医歯薬学総合研究科 教授 渡邊正己

事務局 :

長崎大学大学院医歯薬学総合研究科放射線生物学研究室

担当: 渡邊正己、鈴木啓司

電話: 095-819-2459(渡邊)および095-819-2461(鈴木)

ファクシミリ: 095-819-2459 E-mail: jems-jsaae2004@science-assist.com

学会プログラムおよび各種委員会の予定 :

学会のプログラムは、発表受付が終了後(9月30日頃)アップします。全体のスケジュールおよび各種委員会の予定を見られたい方は、ここを[クリック](#)してください。

参加申込み: 平成16年8月10日より9月20日

発表申込み: 平成16年8月10日より9月20日

参加費	： 学術会議： 一般	8,000 円	学生	3,000 円
	懇親会： 一般	7,000 円	学生	5,000 円

※第33回日本環境変異原学会および第18回日本動物実験代替法学会の両大会へ参加ができます。

※当日参加の場合は、学術会議は、一般10,000円、学生5,000円、懇親会は、一般10,000円、学生5,000円とさせていただきますのでご注意ください。

参加費等の振込み先 :

参加費および懇親会費は、**平成16年11月10日までに**、下記、銀行口座へお振込みください。当日支払いの場合は、学術会議は、一般10,000円、学生5,000円、懇親会は、一般10,000円、学生5,000円とさせていただきますのでご注意ください。

銀行口座名: JEMS/JSAAE2004 大会長 渡邊正己

銀行名: 十八銀行大橋支店(1918)

口座番号: 普通預金 227043

宿泊等 :

各自、ご準備下さい。長崎市の宿泊案内は 長崎観光・宿泊ガイド“あつとながさき”のホームページ(<http://www.at-nagasaki.jp>)から入ることが出来ます。長崎県の学会援助を受けるためにお泊まりになったホテルの宿泊証明が必要となります。受付で書類をお渡ししますのでご協力ください。

発表申込み方法

一般演題：

口演およびポスターを公募します。口演は、10分発表5分討論でワークショップ形式96演題を予定しています。ポスターは、1日60ポスター、計120～180ポスターを予定しています。ポスタービューと討論は、毎日、1時間を確保する予定です。

発表に使用できる機器：

発表は、PC-スライドに限ります。MACあるいはWINDOWS版のPower-Pointで作成し、**11月10日までに**、メールあるいはCD-ROMで事務局までお送り下さい。発表当日は、**発表時間の1時間前**(早朝分は、前日あるいは受付開始時間)までに、必ず、パソコン本体、CD-ROMあるいはUSB型メモリスティック等でバックアップを持参の上、受付でスライドを確認してください。

ポスター作成要領：

ポスターは、幅900mm x 高さ1,800mmのサイズに納まるように作成してください。ポスターの上部にタイトル、発表者氏名および所属を配置してください。和文、英文のいずれでも結構です。

参加申込みと抄録受付：

発表の申込と抄録の受付は、**平成16年8月10日から9月20日まで、Web登録のみで行います。**大会案内のホームページ(<http://sympo.science-assist.com/jems-jsaae2004>)からご登録ください。**Web登録が不可能な方は、事務局へお問い合わせ下さい(095-819-2461:鈴木)。**申込フォームにポスターおよび口演の希望と、発表内容を示すキーワードを番号とともに必ずご記入ください。

キーワード：

日本環境変異原学会および日本動物実験代替法学会の趣旨にあう学術発表等を受け付けます。特に、今回は、下記のキーワードに内容が一致する一般演題を纏めて、10～16程度のミニシンポジウムとして実施します。発表申し込み用紙にキーワードを付されている番号とともに御記入ください。

[キーワード] 1.皮膚感作性、2.皮膚毒性、3.光毒性、4.生殖毒性、5.細胞毒性、6.薬物動態・相互作用、7.薬物代謝、8.動物愛護、9.わが国における動物実験代替法の評価、10.医薬品開発における遺伝毒性試験のあり方、11.DNA損傷の新規検出法、12.遺伝子発現異常(DNAマイクロアレイ)、13.環境汚染物質とバイオアッセイ、14.食品中の変異原・発がん物質、15.環境変異原物質、16.複合効果、17.環境因子とエピジェネティクス、18.遺伝子多型と発癌、19.DNA損傷・付加体、20.活性酸素による突然変異、21.DNA損傷修復、22.遺伝子不安定性、23.発癌予防、24.多臓器変異、25.発癌および遺伝毒性の閾値、26.抗変異、抗発癌機構、27.その他

学生の支援：

学生会員で第一著者として発表する方には、抄録を審査の上、参加費等を支援します。希望する学生は、参加申込フォームの学生会員欄にチェックをしてください。

講演申込みおよび参加申込みは、Web登録のみで受付ます。
<http://sympo.science-assist.com/jems-jsaae2004>
からご登録ください。

プログラム概要(予定)：(希望のところをクリックすると情報がそり次第、詳細が見られます。)

11月 28日 午後 JEMS 将来構想委員会

11月 29日 午後 JEMS 理事会、JEMS 評議員会

11月 30日 午後 JEMS&JSAAE 合同シンポジウム：医薬品の閾値
オーガナイザー：林真(国立医薬品食品安全研究所)
1. リスクアセスメントにおける遺伝毒性—海外の視点は—森田健、石川進、森田馨(国立医薬品食品安全研究所)
2. 統計家からの疑問—遺伝毒性のインビトロ試験のデータから定量的結論を導こうとするのは邪道なのか—吉村功(東京理科大学)
3. 遺伝毒性：DNA 直接作用物質に閾値は存在するのか?!—祖父尼俊雄(元国立医薬品食品安全研究所)
4. 遺伝毒性発がん物質の閾値問題：微量でも本当に危険なのか—福島昭治(大阪市立大学)
5. リスクアセスメントとは何か—もう一度原点に戻って—林裕造(北里大学)

午後 JSAAE 評議員会

夜 MMS, BMS, NGCS, FISH 分科会
JSAAE 分科会

12月 1日 午前 JEMS&JSAAE 合同シンポジウム：ゲノム不安定性
オーガナイザー：能美健彦(国立医薬品食品安全研究所)
1. Genome Instability in Germ Cells - Carole Yauk(Health Canada)
2. 照射精子受精卵の発生過程における遅延損傷応答とゲノム不安定性 - 丹羽太貴(京都大学)
3. 酸化的 DNA 損傷誘発突然変異を開始する分子機構 - 續輝久(九州大学)
4. 遅延性 DNA 損傷の誘発と遺伝的不安定性 - 鈴木啓司(長崎大学)
5. ゲノム解析から見た大腸菌ゲノムの可塑性 - 林哲也(宮崎大学)

午後 JEMS&JSAAE 合同特別講演(1)：
ヒト細胞の癌化
Veronica M. Maher & Justin McCormick(Michigan State University)

JEMS 総会、JSAAE 総会

JEMS&JSAAE 合同特別講演(2)：
生物界の右左-D-アミノ酸の生理学的意義—
藤井紀子(京都大学)

夜 JEMS&JSAAE 合同懇親会(ウエルシティー長崎)

12月 2日 午前 JEMS&JSAAE 合同シンポジウム：動物福祉と安全性試験
オーガナイザー：小島肇夫(メナード化粧品)、二宮博義(麻布大学)
1. 動物愛護法改定の動向 - 東海林克彦(環境庁)
2. EU における動物実験の規制 - 豊田英一(資生堂)
3. ISO における動物福祉 - 黒澤努(大阪大学)
4. OECD ガイドラインにおける動物福祉 - 小野宏(食品薬品安全センター 秦野研究所)
5. 安全性申請試験における動物福祉 - 岸田修一(厚生労働省)

午後 JEMS 会長講演及び JSAAE 会長講演
JEMS&JSAAE 受賞講演

午後 4 時 30 分 全プログラム終了予定

(なお、シンポジウム等の講演タイトルは仮題で、変更されることがあります。)